

2020年度 放課後等デイサービス「ぼしゅっと」評価表 結果報告 【事業所】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	対応・対策
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個と集団とをバランスよく組み合わせることが出来るスペースの確保と空間の使い方が出来ている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準や加算の基準は当然満たしている。が体制的には余裕がなく、職員が休みを取りやすいよう、職員増を目指しているが、コロナの影響もあり増員できずの状況が続いてしまっている。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化に関しては、段差があることで日常生活の中で子どもたちが意識し機能訓練が出来るようになってきている。
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングで目標の確認と前日の振り返りを行っている。全職員参加の職員会議では、長いスパンでの振り返りを継続的に行っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			今年度も3月にガイドラインに基づく評価表を保護者に配布し実施した。
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか		○		法人監査に報告は行っているが、外部機関には依頼していない。
	⑧ 職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか		○		コロナ禍で研修の機会が減少したが、オンラインでの研修になったりと参加しやすい状況になってきた。動画配信などで期間が設定されているものは、全職員で視聴をしている。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	○			職員会議内でアセスメントを行っている。子どものニーズについても直接処遇に当たる職員からの声を参考にしている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			昨年度より統一したフェイスシート、アセスメントシートを導入した。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングや職員会議での報告等を計画立案の参考としている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			もともとプログラムは設定していないが、“子どものやりたい”が実現できるように柔軟な活動が出来るように心がけている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		開室の種類（1日か平日か）にはとらわれず、その子の課題を把握し活動中の必要な部分を活用し支援を行っている。
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	○			個々により、集団との距離感が異なること、その意味合いも異なることを加味して計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前に1時間程度ミーティングを行っている。
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか		○		送迎等の都合から活動後の打ち合わせの実施は難しいため、その日の報告を記録に残してもらい共有している。翌日のミーティング時に報告と対策を検討。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証改善につなげているか	○			支援後に記録の記入を行っている。記録は全職員が出勤時に必ず確認を行う。
	⑱ 定期的にもモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画をより具体的にした週間目標の設定と、職員会議での振り返りを行っている。
関係機 関や保 護者 との連 携関係	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			可能な限り児童発達支援管理責任者が参加をしている。
	⑳ 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか		○		下校時等の時間を利用し必要に応じ行っている。が、子ども親の共有や支援のすり合わせという所まで十分な時間が確保できていない状況にある。
	㉑ 就学前に利用していた保育所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		個々に応じて対応を柔軟に行っている。
	㉒ 学校を卒業し福祉サービス事業所へ移行する場合、支援内容の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて行う。
	㉓ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか			○	必要と判断されるケースが発生した場合には連携を行いたい。
	㉔ 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか			○	体制や日程調整等で現在は難しい状況。さらに、コロナ禍の現状での交流は難し。
	㉕ 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会ではないが、狭山市放課後等デイサービス連絡協議会に参加。埼玉県放課後等デイサービス連絡会にも参加。
保護者 への説 明責任	⑲ 日頃から子どもの情報を伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		全ての子にはできていないが、必要がある子に関しては関係機関と連携を密に行っている。
	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入室契約時に説明を行っている。
	㉑ 保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか		○		いつでも話を聞くことを心掛けてはいるが、日常的なやり取りの時間の確保は苦慮している。
	㉒ 父母会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか			○	例年、法人の総会時に保護者や保護者OBの集まる機会を設けることが出来たが、今年度はコロナ禍のため、総会が文書決議になり、保護者会も実施が出来ていない。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の担当者の配置がある。
	㉔ 定期的に会報を発行し活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			内外に定期的に広報、おたよりの作成し配布している。ブログを通じての活動様子も発信している。
	㉕ 個人情報に十分に注意しているか	○			職員からも誓約書を取る等の手立てをとっている。写真の使用に関しては、毎年度保護者からの了承を得ている。
	㉖ 障害のある子や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児に対しても保護者に対しても個別の方法でやり取りを行うようにしている。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業所運営をしているか	○			毎日の下校で地域の皆さんと接点を持っている。広報を近隣の方に配布。
	㉘ 緊急時対応マニュアル等を策定し職員保護者に周知しているか		○		入室時に渡しているだけの為、利用期間が長い家庭への再度の提供が必要。
非常時 の対応	⑳ 非常災害時に備え定期的に避難訓練を行っているか	○			避難訓練と防災用品の点検を行っている。
	㉑ 虐待を防止するために職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○			年度初めの職員会議で研修を実施。
	㉒ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載しているか	○			個別支援計画に明記し署名押印を頂いている。
	㉓ 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか		○		保護者からの指示に基づき行っている。
	㉔ ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			日々のミーティングや職員会議で報告確認をしている。